

【資料4】第5次総合計画後期基本計画 住みよさ指標及び目標値の見直し

1. 住みよさ指標の見直し

①市民満足度に係る指標の削除

世相などの外的要因を大きく受けることなど、行財政評価委員会からの提言（以下、「提言」）を受けて見直します。

具体的には、以下の市民満足度に関する指標を削除します。

施策		市民満足度に関する指標
No.	名称	
1	危機管理・防災対策の推進	「防災」
2	消防・救急・救助体制の強化	「消防・救急」
3	防犯対策の推進	「防犯」
4	交通安全対策の推進	「交通安全」
5	消費生活の安定と向上	「消費者行政」
6	地域福祉の推進	「地域の支え合い」
7	高齢者福祉の充実	「高齢者にとっての暮らしやすさ」
8	障がい者福祉の充実	「障がい者にとっての暮らしやすさ」
9	社会保障制度の適正な運営	「社会保障制度」
10	健康づくりの推進と医療体制の充実	「健康づくりを進める環境」
11	児童福祉の推進	「児童に対する福祉」
12	子育て支援の充実	「子育てのしやすさ」
13	学校教育の充実	「小中学校の教育環境」
14	青少年の健全育成の推進	「青少年の健全な育成」
15	生涯学習の推進	「各種講座や施設など生涯学習の環境」
16	歴史文化遺産の保存・活用及び文化芸術の振興	「歴史文化遺産の保存・活用」 「文化芸術活動などの環境」
17	生涯スポーツ活動の振興	「スポーツ施設や活動などの環境」
18	人権と平和の尊重	「人権の尊重と平和意識の高揚」
19	男女共同参画の推進	「男女共同参画の推進」
20	多文化共生と国際交流の推進	「国際交流や多文化共生社会の推進」
21	自然環境の保全・活用	「自然環境への配慮」
22	循環型社会の構築	「リサイクル施策など循環型社会への取り組み」
23	快適な生活環境の確保	「騒音・悪臭などの少なさ」
24	魅力的な景観の形成	「まちなみ・自然・歴史など景観の美しさ」
25	市街地整備の推進	「市街地の整備」
26	住宅環境の充実	「住環境」
27	公園・緑地の整備	「公園や緑地などの環境」
28	道路基盤の整備	「道路や橋などの交通網」
29	公共交通の充実	「バスなどの公共交通サービス」
30	上下水道の整備	「上下水道」
31	商工業の振興	「商業地などの賑わい」
33	観光の振興	「観光事業」
34	雇用の確保と就労・労働環境の充実	「身近な場での働きやすさ」
36	協働の推進と地域コミュニティの活性化	「市民同士の連携や市民と行政の協働」
37	効果的・効率的な行政運営の推進	「行政改革への取り組み」
38	健全な財政運営の推進	「適正で透明性の高い財政運営」

※以下の市民満足度については、担当課からの要望により指標として存続させます。

32	農林業の振興	「農林業の振興」
----	--------	----------

②その他の見直し

No.	施策 名称	指標名		変更理由
		変更前	変更後	
9	社会保障制度の適正な運営	生活保護の稼働世帯の割合	→ 生活保護現業員の充足率	提言②外的要因の影響が大きい指標により、見直しを行う。
11	児童福祉の推進	児童虐待見守り件数	→ 要対協等研修会参加者数 ※要対協：要保護児童対策地域協議会	虐待見守り件数のカウント方法の変更により、当初設定数値と実績値が大きく乖離している。前期評価結果においても、指標とならないとの指摘があるため、見直しを行う。
15	生涯学習の推進	「生涯学習情報提供システム」登録数	→ 市民交流センター利用人数	登録数の内訳が市HP更新に伴い変更され、指標値として比較できる値ではなくなったため。
16	歴史文化遺産の保存・活用及び文化芸術の振興	(新規)	→ ふるさと歴史学習館でのアンケート調査による認識度・印象度把握	世相や天候、新型コロナウイルス感染症拡大防止による臨時休館などの外部要因により数値が変化しにくい指標を新たに設定する。なお、従来の「市民満足度」のようなサンプル調査ではなく、回収したアンケートの全件調査とする。
16	歴史文化遺産の保存・活用及び文化芸術の振興	(新規)	→ ふるさと歴史学習館主催事業参加者数	市単独の努力の成果が客観的な数値として現れやすい指標として事業参加者数を設ける。単なる施設の利用者数と異なり、地域の歴史や文化に対する学習の機会を求めて入館し、理解を深めた利用者数を示す。
19	男女共同参画の推進	(新規)	→ 管理職への女性職員登用率	前期基本計画の外部評価（資料⑤）を踏まえて、指標を追加。
20	多文化共生と国際交流の推進	国際交流活動参加者数	→ 国際交流活動・イベント参加者数	外部評価を踏まえ、国際交流イベントの参加者を含んでいることを明確にするため。
25	市街地整備の推進	市街地整備の件数	→ 地区計画決定の件数	外部評価を踏まえ、指標を修正。
32	農林業の振興	(新規)	→ 農地集積面積	外部評価を踏まえ、アウトプット指標を設定。
32	農林業の振興	(新規)	→ 森林経営管理制度に基づく経営管理意向調査実施率	外部評価を踏まえ、アウトプット指標を設定。
36	協働の推進と地域コミュニティの活性化	自治会加入率	→ (削除)	H29開催の行財政評価委員会において、外部要因が大きいなど、指標として馴染まないとの意見があり、指標を削除する。
			→	

2. 住みよさ指標の目標値の見直し

No.	施策 名称	指標名	目標値 (R7)		変更理由	
			変更前	変更後		
1	危機管理・防災対策の推進	地域防災活動参加者数	7,500人	→	4,000人	地域防災総合訓練の中止および地域が主体となった防災活動の取り組みを推進するため。また、主催者に対して訓練指導をおこなっているため。
4	交通安全対策の推進	交通事故発生件数	370件	→	260件	実績を踏まえた目標値の変更。
7	高齢者福祉の充実	要介護認定を受けていない高齢者の割合	70.7%	→	77.8%	第8期高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画との整合性を図るため。
9	社会保障制度の適正な運営	国民健康保険料の収納率	94.0%	→	94.2%	大阪府のR2保険料率算定時の標準収納率94.2%に上方修正し、これを維持・向上することとする。
12	子育て支援の充実	合計特殊出生率	1.80	→	1.63	第5次総合計画基本構想の人口想定に合わせて見直しを行う。
14	青少年の健全育成の推進	少年犯罪者数	1,000人	→	400人	実績を踏まえた目標値の変更。
16	歴史文化遺産の保存・活用及び文化芸術の振興	ふるさと歴史学習館の入館者数	11,750人	→	6,550人	実績を踏まえた目標値の変更。
21	自然環境の保全・活用	河川一斉清掃の参加者数	1,500人	→	1,400人	人口減少や参加対象者の高齢化を考慮した目標値の変更。
22	循環型社会の構築	市施設のエネルギー使用量	192,673GJ	→	172,921GJ	第3次環境基本計画策定時の値に修正する。
23	快適な生活環境の確保	一般環境騒音基準達成箇所割合	80.0%	→	100.0%	実績を踏まえた目標値の変更。
23	快適な生活環境の確保	規制基準達成事業所割合	97.0%	→	98.0%	実績を踏まえた目標値の変更。
26	住宅環境の充実	社会動態の転入者／転出者の数	95.0%	→		第5次総合計画基本構想の人口想定に合わせて見直しを行う。
27	公園・緑地の整備	緑地面積	95ha	→	90ha	大規模団地開発の際の周辺地、法面等について「緑地」として引き取るものであるが、現在、大規模開発事業は見込まれないため、現実に即して見直しを行う。
32	農林業の振興	農業従事者数（兼業農家含む）	934人	→	844人	実績を踏まえた目標値の変更。
32	農林業の振興	朝市・直売所の売上高	7.20億円	→	8.0億円	実績を踏まえた目標値の変更。
33	観光の振興	観光ボランティア数	214人	→	170人	実績を踏まえた目標値の変更。
35	都市ブランドの構築と魅力発信	社会動態の転入者／転出者の数	95.0%	→		第5次総合計画基本構想の人口想定に合わせて見直しを行う。
38	健全な財政運営の推進	市税徴収率（現年分）	99.12%	→	99.39%	実績を踏まえた目標値の変更。
38	健全な財政運営の推進	経常収支比率（普通会計）	95.0%	→	96.7%	実績を踏まえた目標値の変更。
38	健全な財政運営の推進	実質公債費比率（普通会計）	5.0%	→	2.3%	実績を踏まえた目標値の変更。
				→		